

指導案

平成26年1月27日2限

授業者 大瀧 南雲

1. 单元名

処理水準

2. 本時の指導

(1) ねらい

処理水準について学ぶことを通して、日常生活に活用することができる。

(2) 本時の構想

導入では、処理水準の実験を行う。展開でその結果から処理水準について学び、活用方法の一例としてイメージマップを実践する。終末では他の活用方法を知るとともに本時を振り返る。

(3) 展開

時間	学習活動 (●) 予想される生徒の反応 (・)	支援 (○) と評価 (◎)
導入 5	●処理水準の実験を行う。 ・意味処理の方が覚えていた。 ・どうして文字処理は覚えられないのか。	○パワーポイントを使用し、一斉に実験を行う。 ○どのように覚えたか生徒に聞いて、全体で共有できるようにする。
展開 15	●処理水準について学ぶ。 ・記憶にはこんな仕組みがあったのか。 ●イメージマップを用い処理水準の活用を実際に行う。 ・秀吉は太閤検地をした人なのか。 ・太閤検地では京升を使ったのか。 ・秀吉は目が大きいな。	○パワーポイントを使用する。 ○板書でイメージマップの紹介。 ○教科書に書いてあることだけでなく、印象やイメージなど自由に記入することや資料を貼ったり色などを工夫してもよいことを伝える。 ○作業の状況に応じてペアでの作業を行う。
終末 5	●他の処理水準の具体的な活用方法を知る。 ●本時の振り返りを行う。	○他の活用方法や処理水準の要点をパワーポイントで表示する。

準備物：パワーポイント、パソコン、計算用の紙、イメージマップ用の紙、教科書のコピー（日本史）

キーワード：処理水準